

こんにちは 2017年10月26日No.153

# ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com

☎&fax 042-582-1870

☆自宅:日野市万願寺 6-35-9

カサベルデ 201

☆ちかざわ事務所(三沢中学校

のそば)日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

## 総選挙 市民と野党の共闘は大きく前進

### 小糸健介候補、善戦・健闘も、及ばず

10月22日投開票が行われた総選挙で、東京21選挙区において日本共産党は、田川豊氏の立候補をとりやめて、社民党の小糸健介候補へ一本化をはかり、市民と野党の共闘の勝利へ全力を尽くしました。公示6日前での擁立・一本化にも関わらず、17%の得票率を得て、善戦・健闘しましたが、及びませんでした。

### 公約実現に努め、憲法改悪阻止の運動を

選挙全体では、日本共産党は、小選挙区で、沖縄1区で赤嶺政賢候補の当選をかちとったものの、比例代表選挙では、前回獲得した20議席から11議席への後退となりました。ご期待に応えられなかったことを心よりお詫び申し上げます。

ご支持、ご支援いただいたみなさんに、心から感謝するとともに、次の国政選挙では必ず捲土重来を期す決意です。

今回の総選挙で日本共産党は、市民と野党の共闘を成功させることを大方針にすえてたたかいました。立憲民主党が躍進し、市民と野党の共闘勢力が全体として大きく議席を増やしたことは、私たちにとっても大きな喜びです。

新しい国会で、総選挙で掲げた公約実現に努めます。市民と野党の共闘を 発展させ、憲法改悪阻止をはじめとした各分野の国民運動を前進させるために、全力をあげる決意です。ご支援をよろしく願いいたします。下記は、日野市における結果です。

	候補者名	得票数	得票率
選挙区当選	長島昭久	33,511	41.52%
比例復活	小田原潔	31,154	38.60%
	小糸健介	13,860	17.17%
	天木直人	2,192	2.72%

政党名	投票数
日本共産党	8,949
立憲民主党	19,153
社会民主党	1,619
自由民主党	24,241
公明党	7,043
希望の党	16,448
日本維新の会	2,225
その他の党計	2,415
無効票	1,207

- 当日の有権者数 152,944人
- 投票者総数 83,315人
- 投票率 54.47%
- 前回投票率 55.92%

ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを！

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です

第1.3木曜日 18:00~20:00 第2木曜日 13:00~15:00



## ちかざわ美樹の議会質問で動いた その1《市内公共施設予約システム》

### 「コンピューター操作での予約だけ」から、改善をすると市が答弁

市内のスポーツ施設、文化施設、公民館、交流センター等がインターネット上で予約できるようになりましたが、窓口でも「使い方を教えるので、その場で入力してもらおう」とされています。コンピューターやスマホを使わない人には不便なので、党市議団はこの間改善を求めてきました。9月議会で私は、「市は、『パソコン操作が苦手な方はサポートします』と市は言うが、これでは例えば障害のある方や高齢の方等には、『バリア』（見えない壁）になってしまう。自分でコンピューターを操作しなくても、施設の窓口で、使いたい日時を伝えることで予約ができるように改善すべき」と、求めました。担当の地域協働課はそのように改善するために窓口の「ルール化の検討」をすることで対応しました。



## ちかざわ美樹の議会質問で動いた その2《万願寺6丁目市有地の新農協施設》

### 周辺地域の渋滞・交通対策を求め、交通誘導員2人の常駐が実現!

万願寺6丁目にある日野市の3200平米の土地を「JA東京みなみ」に20年間貸し出す契約を締結し、このたびJA東京みなみ日野支店と農産物直売所がオープンしました。

私は、昨年(2016年)の12月議会で、国道と都道が交差し住宅地に隣接するこの土地の、施設の工事中、オープン後の渋滞・交通対策について一般質問を行いました。

市は「事業者は、計画地周辺道路などに違法駐停車等しないよう管理、指導を徹底し、周辺住民などの交通に迷惑をかけないようにする。このようなことを協定書の別添にございます指導事項履行確認書として、定めている」、「今後、工事が進む中で協定書の内容が履行されるよう市としても確認をしてまいりたい」と答弁していましたが、このたび、オープンにあたり、車両の出入り口に2人の交通誘導員が配置されることになりました。

日本共産党発行



日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円



東京民報は東京がよくわかる週刊新聞、月額400円、躍進した日本共産党都議団の情報も満載です。見本紙をご希望の方はすぐお届けします、ご遠慮なくご連絡下さい。しんぶん赤旗といっしょに配達・集金をします。ぜひ、ご購入を!

## いのちがいらばん

(自己紹介のつづき) 新卒で入社した会社を出産で退職したのは、働き続ける事をめざしてきた私にとって大きな「挫折」でした。小さなわが子はこの上なく可愛く、いっときも離れたくありませんでしたが、地域に知り合いがほとんどいない「密室育児」は、今考えると、「窒息」しそうでした。朝から夜までおとなとの会話のない毎日は自分自身が社会からどんどんと残されていくような気がしました。当時も「求職中」では保育園には入れませんでした。子どもが3才で幼稚園に入園すると、前進座の「母」の日野での上演を手伝って欲しいと声をかけてもらいました。やっと「呼吸」が少し戻った気がしました。



ちかざわ美樹